



羽合小学校 学校通信

平成27年1月16日 NO.86

## ゴールはどこか

No. 85でテストはゴールではなくスタートだとお話しました。ではゴールはどこにあるのでしょうか？

わたしたちはゴールは「夢の実現」であると考えています。こどもたちの夢をかなえてやりたいというのはわたしたちの願いです。

羽合小学校の教育目標は「目標の実現にむけて、粘り強く挑戦できる児童の育成」です。そのために、学習に取り組む中で思考力や判断力を磨き、試行錯誤しながら答えを導いたり、ひとつではない答えの間で折り合いをつけたりすることができるようにすることが、自分の夢を実現するために必要だと考えているのです。だから点数を取ったかどうかということより、そこから自分の力をどのようにして伸ばしていくのが大切になるのです。

通信教育や出版のベネッセの調査では小1で61.8%、小6で50.9%のこどもたちに将来になりたい職業が決まっているとのこと。男子のになりたい職業の1位はサッカー選手、次いで学者・研究者、野球選手。女子のになりたい職業の1位はパティシエ・お菓子屋、次いで教員、医師と続きます。「になりたい」「なるには」「なろう」「なる」と意志を固めていく場合もあるでしょうし、目標を変更するこ

とがあるかもしれません。夢の実現には資格や技能が必要になる場合もあります。点数も必要になることもあります。でも、夢の実現に向かって学び、挑戦するために一番必要なのは試行錯誤の中で答えを導いたり、折り合いをつけたりする力です。こどもたちには夢を実現してほしい！だから勉強するのはです。こどもたちには「テストはゴールではなく、スタートである。ゴールは夢の実現である！」ということをはっきり意識してほしいものです。

私が小学校の低学年の時は「バッキンガム宮殿の衛兵」（赤い上着に熊の毛皮の帽子の衛兵）になりたかったのですが、高学年になると人類が月面に到達したり、大阪で万国博覧会が開かれるなど高度経済成長のまっただ中であつたこともあり「エンジニア」になりたいと思っていました。サンタクロースのプレゼントに「電子ブロック」を貰って、ラジオを組み立てたりベルやセンサーを組み立てたりすることに夢中になっていました。40年先に小学校に勤務しているとは夢にも思わなかったのです。保護者の皆さんはいかがでしょうか？ゴールはどこなのか、見つからなければそれを見つけるためにも勉強しなければなりません。自分の視野を広げなければなりません。

### 【おめでとうございます】

わたしたちの羽合小学校の笠見宏子教諭が平成26年度文部科学大臣優秀教職員表彰を受賞されることが決定し、15日付けの新聞で発表になりました。多年にわたる教育研究やその実践が高く評価されての受賞です。おめでとうございます。これからもよろしくお願いします。

羽合小学校 寺谷英則